

資料 2

【別添資料】

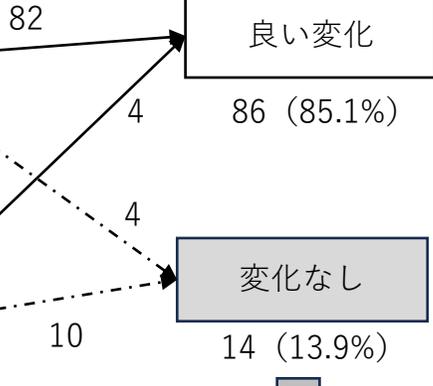
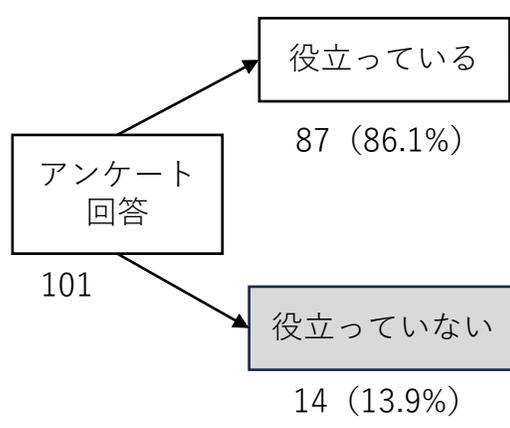
令和4年度専門療育修了者
1年後アンケート結果

【令和4年度専門療育修了者 1年後アンケート結果】 (n=101)

Q1：療育が日常生活に役立っているか

Q2：療育を受けたことで変化があったか

Q3：療育の効果は現在も継続しているか



効果継続 75 (87.2%)

継続していない (効果がなくなった) 10 (11.6%)

困難感増加 1 (1.2%)

内容	人数	%
1 子どもが成長し、必要性低下	1	7.1%
2 日常生活の中での実践困難	8	57.1%
3 新たな困りごとの出現	1	7.1%
4 療育ポイントがわからなくなった	2	14.3%
5 1年間は短い	7	50.0%
6 療育・保護者研修内容が子どもの発達状況に合わない	2	14.3%
7 その他	0	0%

(複数回答可)

内容	人数	%
1 日常生活での活用困難	8	57.1%
2 他の療育と同じ内容	4	28.6%
3 元々、療育の必要性少ない	0	0%
4 1年間は短い	6	42.9%
5 その他	0	0%

(複数回答可)

内容	人数	%
1 日常生活での継続困難	8	80.0%
2 子どもが成長し、必要性低下	1	10.0%
3 その他	1	10.0%

(複数回答可)

(内容)
・成長とともに気難しくなり、効果が薄くなった。

(内容)
・自己主張が増えた
・友達とのトラブルやけんかが増えた
・暴力を振るうことが増えた
・療育内容を実践するが、指示が入りにくくなった

(内容)
・学校でのしんどさから外出しにくくなった
・専門療育の先生に相談できて心強かった

Q1：「専門療育が日常生活に役立っているか」で「役立っていない」と回答した**14名**

Q2：「専門療育を受けたことで変化があったか」で「変化なし」と回答した**14名**

専門療育を利用して得られたもの

	項目	人数	%
1	子どもの行動や発達特性の理解	9	64.3%
2	家庭でも取り組む (心がけている場合も含む)	4	28.6%
3	子どもへの見方や接し方の変化	6	42.9%
4	不適切行動への対応	3	21.4%
5	他人への相談	3	21.4%
6	なし	3	21.4%

(複数回答可)

専門療育終了後に利用しているもの

	項目	人数	%
1	医療機関への定期通院	8	57.1%
2	区役所での面接やグループ活動	0	0%
3	児発や放デイの利用	12	85.7%
4	本やネットなどで学習	3	21.4%
5	講座・講演会参加	2	14.3%
6	ペアトレ参加	1	7.1%
7	親の会への参加	1	7.1%
8	その他	1	7.1%
9	なし	1	7.1%

(複数回答可)

児発や放デイの利用状況

利用日数	人数
週1回	1
週2～3回	8
週4回以上	3

計画相談	人数
あり	10
なし	2

療育内容	人数
個別支援 (子のみ)	5
個別支援 (親子療育)	2
少人数 (3人以下)	5
グループ (4人以上)	9

(複数回答可)

Q1



Q2



	項目	人数	%
1	子どもの行動や発達特性の理解	9	64.3%
2	家庭でも取り組む (心がけているも含む)	6	42.9%
3	子どもへの見方や接し方の変化	5	35.7%
4	不適切行動への対応	2	14.3%
5	他人への相談	3	21.4%
6	なし	3	21.4%

(複数回答可)

	項目	人数	%
1	医療機関への定期通院	8	57.1%
2	区役所での面接やグループ活動	1	7.1%
3	児発や放デイの利用	12	85.7%
4	本やネットなどで学習	4	28.6%
5	講座・講演会参加	3	21.4%
6	ペアトレ参加	1	7.1%
7	親の会への参加	1	7.1%
8	その他	1	7.1%
9	なし	1	7.1%

(複数回答可)

利用日数	人数
週1回	0
週2～3回	8
週4回以上	4

計画相談	人数
あり	11
なし	1

療育内容	人数
個別支援 (子のみ)	6
個別支援 (親子療育)	3
少人数 (3人以下)	3
グループ (4人以上)	11

(複数回答可)